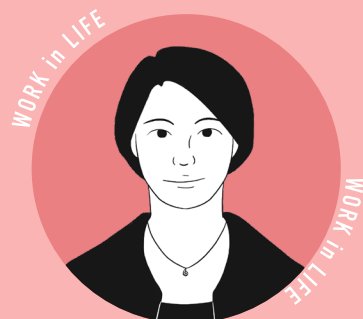


両立社員の ワークインライフ

本社部門 部長 Cさん

本社系の部長で、子育てと仕事を両立しながら働いているCさん。
管理職として、母親として、気をつけていることを伺ってきました。



Q1. 仕事の楽しさを感じる点を教えてください。

ANSWER
会社経営の根幹に携わる業務内容であり、新たな知見を得られること、これまでの経験との紐づけができたときに楽しさを感じています。また誰かの役に立てたと実感できるときは嬉しいです。

聞いてみました！ ワークインライフ Q&A

Q2. 仕事の悩みや不安はありますか？

ANSWER
周りからも悩みがなさそうと言われるし、自分でも昔からあまり悩みがないと感じています。もちろん相談ごとやアドバイスを欲しいことはありますが、そういう時は他の方の意見やこれまでの経験を踏まえて決定すればよいですし、相談できる人も周りにいるので、悩みにはならないのかもしれない。
部長という役職に対しては、**私より経験のある人たちが決めたことなので、自分がやれることをやるだけだと常に考えています。**良くも悪くも気負わないのは、自分の強みだと感じています。

Q3. 子育てと仕事を両立できた理由は何ですか？

ANSWER
まず、娘が夜泣きもなく、あまり風邪をひかなかったことが理由だと思います。また、「子育てたるものこうあるべき」に捕らわれずにいたことが、良かったと思います。
加えて、上司を含め職場環境に恵まれたことも大きいです。お休み中も「いつ戻れる？」と事あるごとに連絡をもらったり、職場行事にも参加させてもらっていました。復帰後も、変に気を遣わず出産前と同じように接してくれる環境だったため、非常に働きやすかったです。海外出張に関しても、どのスケジュールなら行けるかと、行くことが選択肢に入っているコミュニケーションであったことは、ありがたかったです。**土日を移動日にしない、前泊ではなく子供が寝た後に空港まで乗り合いタクシーで移動するなど、柔軟な対応ができたからこそだと思います。**



Q4. 仕事で心掛けていることはありますか？

ANSWER
できるだけメンバーと情報を共有し、自分だけが分かっている状態を作らないことです。また、**決裁や確認が必要な業務は、優先順位をあげて対応しています。**子供の急病対応だけではなく、自分自身が体調不良になる可能性もあるので、メンバーの仕事が止まらないようにすることは気をつけています。それらを優先した結果、自分の仕事が止まっていることはよくあり、反省点です。

Q5. 子育てで気をつけていることはありますか？

ANSWER
周りと比較しないことです。子供は一人ひとり違いますし、家庭環境も違うので、家族で話し合って決めるのが基本です。うまくいっても失敗しても、自分たちで決めているので、後悔することはありません。周りと比較しないので、前例のないことにも挑戦しやすいです。

Q6. 復帰に向けて何かやったことはありますか？

ANSWER

勤務先が遠く延長保育は避けられない状況でした。ダメなら短時間勤務に変更すればよいという主人の後押しもあり、フルタイムで復帰しました。出張等で私が不在の期間を子供がネガティブに感じないように、**最初から母親不在でも何とかなる対応をしていました。**



子供のご飯は、主人が調理しても同じ味になるように、普段から味の濃いものを避け、切るだけなど**簡単な調理で済む食事**を作ったり、「お母さんがいない時はお店に食べにいけないよ!」など、前向きに捉えられるような声かけをしていました。また平日の家事を減らすために、一週間分の洋服など保育園で必要なものは多めに準備しました。

Q7. シニアスタッフに挑戦したのはお子さんが小さい時でしたよね? 大変なことはありましたか？

ANSWER

私は論文ではなく資格ポイント制度で申請しました。C等級論文で上司に多大なるご迷惑をおかけしてしまったこともあり、**若手のうちからエントリーに必要なポイントを取得し始めました。**早めに準備を始めたのに、最後は数日年休を取って、通信講座にひたすら向き合ったのは良い思い出です。ミニマムレベルチェックは、子供が寝た後にファミレスに通い、短期集中で勉強しました。

Q8. 管理職の立場になって、気をつけていることはありますか？

ANSWER

自分が子育てと仕事の両立ができたからといって、それが他の人もできるとは限りません。家庭環境や子供の健康状態にもよりますし、**子供の年齢が上がるにつれて出てくる問題**もあります。そもそも、**目指したい両立の形や状態も人それぞれです。**そのため、**私の両立は一例に過ぎない**ということを忘れない様、意識をしています。また、メンバーのキャリア形成に関しては、**経験する機会を与えることを意識**しています。私自身、経験してきたことが糧になっていると同時に、**経験してきた範囲でしか物事を考えられないことがよくあります。**であれば、メンバーに対しても、**経験の幅や深さを広げることが、知見を得、これからの選択肢を増やすことに繋がる**と考えています。

Q9. 家事のアウトソーシングはしましたか？

ANSWER

していません。復帰直後は、「無理だ〜」と疲れてしまったときもありましたが、**すぐに保育園のお迎えの当番制**を主人が提案してくれたので、乗り越えられました。その他工夫した点としては、**「2人で同じことをせず分担する」**です。子育てに限らず、それぞれ気になることや得意とすることが違うので、限られた時間を効率的に使っています。

Q11. 最後に伝えたいことはありますか？

ANSWER

「迷ったときは、流されてみれば良い。その経験を生かして、こごぞというときに自分で決断すれば、**流されたことも自身の選択になる。**」その先輩の言葉でここまでやってきました。皆さんも自身で選択し、それぞれのワークインライフを楽しんでください。

Q10. これからの目標はありますか？

ANSWER

正直、目標はありません。1日1日大切に過ごすことで、次にやりたいことが見えてくればそれに向かって進む、それで充分だと思っています。直近では、子供の「やりたい」を精一杯応援したいという思いから、平日は山梨県、週末は長野県という2拠点生活を開始しました。柔軟になった在宅勤務制度を活用していますが、「ワークインライフ」の実現は、自身に責任を課すことであり大変です。しかし、生活基盤という観点でのキャリアだけではなく、会社生活を通して得られた経験を次の挑戦に生かしていくことも踏まえ、**自律したワークインライフに向け、やれるだけやってみよう**と思っています。

TIME SCHEDULE

タイムスケジュール

子供の習い事のある日 (出社日)		子供の習い事のない日 (在宅日)	
6:00	起床 朝ごはん・準備	6:00	起床 朝ごはん・準備
7:00	娘と一緒に出発・通勤	7:00	家事・娘は学校へ
9:00	業務開始	7:30	業務開始
21:00	退社	16:00	娘帰宅
22:00	娘と途中の駅で合流	18:00	業務終了、夕ごはん
23:00	就寝	19:00	勉強など娘との時間
		21:00	お風呂・翌日の準備
		21:30	娘就寝・リラックスタイム
		22:30	就寝

POINT

一週間で
栄養バランスを
考える

一週間を一括りとして栄養バランスを考えています。外食の日もあれば、簡単な料理の日、野菜をしっかり摂る日などの組み合わせです。

インタビューより

ご自身や、家族で決めたことを実現するために、前例にとらわれず、周囲に流されず、制度を最大限活用して働くCさん。柔軟に働きながらしっかり責任を果たしていく姿は見事です。エブソンとして、より多様な働き方に対応できる環境を整え、一人ひとりが自律して働くことで、個人も事業も成長していくためのヒントが隠れている気がしました。